

雑居ビル等における消防計画の実効性向上を図るための周知方策について

このほど消防庁は、雑居ビル等に入居しているテナント等の従業員の方々に、火災発生時の対処方法等、消防計画に基づいた対処方法について周知徹底させるために、火災時の対処方法をまとめた掲示物（案）を作成し各消防本部へ通知しました。

消防計画は、防火対象物における防火管理の基本的な対応を定めるものであり、火災等の発生の未然防止や発生時における被害の軽減を図るため、その内容については防火対象物における事業所の従業員の方々に広く周知をし、理解を得ることが求められています。このことから、雑居ビルのテナント等の消防計画を、より効果的に従業員の方々に周知するための方策として、火災発生時における従業員の方々の**任務分担、行動要領、消防隊への報告、119番通報要領等**を従業員の誰もが容易に確認できるような場所（事務室、厨房、店内等）に掲示することを推奨しています。そこで、下記のような掲示物のデザイン案を公表していますので、ご案内します。

具体的には、下記サイトにて取得できます。

『消防庁ホームページ 平成24年4月の通知・通達』

http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2404/pdf/240417_jimurenaku_1.pdf

000 火災時における任務分担

1 火災時の任務（総論）

- ・通報・・・119番通報、その後各任務の補助
- ・初期消火・・・消火器、屋内消火栓等を用いた初期消火
- ・避難誘導・・・メガホンや拡声器を活用した在館者の避難誘導

2 実施すべきこと

火災発生

①通報

- ・住所：〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
- ・目標：〇〇のどちら側（東西南北）
- ・何が燃えているのか
- ・逃げ遅れやけがの有無
- ・自分の氏名、連絡先

②初期消火

- ★消火器を使用する場合
- ① 安全ピンを引き抜く
- ② ホースを向ける
- ③ レバーを強く握る

③避難誘導

- ・店内にいる人に火災の発生を知らせ、指示に従うよう伝える。
- ・頭を低く、ハンカチ等を口に当てて、煙を吸わないように伝える。
- ・非常口、避難階段へ誘導する。
- ・在館者の人数、けがの有無を確認する。

3 消防隊へ報告すべきこと

- ① 出火場所、テナント名称等
- ② 初期消火、避難誘導の状況
- ③ 逃げ遅れ、けがの有無

新型スーパーアウル（パッケージ型消火設備）発売

『業界最小 & 最軽量』 2011年4月発売

スーパーアウル（パッケージ型消火設備）が、利便性・操作性を向上させ、業界最小で最軽量にフルモデルチェンジをして発売されました。

■業界で最小・最軽量化を実現

- ・搬送や取り付け時の作業効率がアップ
- ・強度アップにより、ボックス、扉のひずみを回避
- <高さ> 1,860mm → 1,350mm (50cm縮小)
- <総質量> 約195kg → 約165kg (30kgの軽量化)

■業界No.1 最軽量ホースを装備

- ・合成ゴムホースから樹脂製ゴムホースに変更し、従来比72%の軽量化を実現
- ・ホースの引き出し～火元までの持ち運びが容易
- <ホース質量> 7.5kg → 2.1kg (5.4kgの軽量化)

■専用チューブで楽々&スピード充填（オプション）

- ・消火薬剤のポリ容器を直接接続できる「コック付き専用チューブ」を開発し、作業時間&効率の大幅改善
- ・BOX天井が低くなったことで、充填作業が簡単
- <消火薬剤の充填時間> 15分 → 5分 (10分短縮)

■業界No.1の放射距離

- ・ノズル構造の改良で、放射距離を最長16mまで確保
- <消火作業の安全性アップ>

■SUS製消火薬剤貯蔵容器で優れた耐食性

- ・消火薬剤による腐食が無く、内面塗装剥離の心配なし
- <安心+安全で長期間使用可能>

従来品
 総重量
 195kg

50cm低くなりました！
 新型
 総重量
 165kg

スーパーアウル
 NSⅢ



防災設備とセキュリティ設備について、日頃現場で工事や維持管理を行っている専門家が分担して執筆した、実践的な入門書で、消防設備・消防法及びセキュリティ設備に携わろうとする方々のために、その分野を広く浅く解説した本がこのほど出来上がり全国で発売となりました。消防設備・消防法関係を弊社 代表取締役中前 が執筆しております。消防設備・消防法関係部分の内容は、下記の通りです。

〔1〕消防用設備と法律

燃焼の原理、消防法、消防用設備の規制・種類・機能

〔2〕消火設備

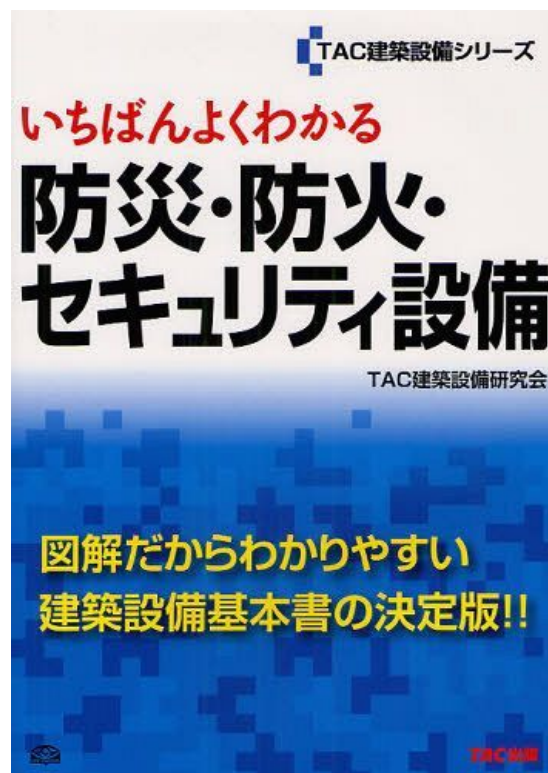
消火原理と仕組み、消火器・スプリンクラー設備・泡消火設備・ガス系消火設備・粉末消火設備などについて

〔3〕火災報知設備・避難器具

自動火災報知設備・住宅用火災警報器・各種避難器具について

〔4〕防火設備・排煙設備

防火設備の種類・ドレンチャー設備・排煙設備・消火活動に必要な設備などについて



発売を記念して、ご希望のお客様には無償にて進呈をさせていただきます。

弊社、営業マンへお申し付けください。新人研修などの教材としてご使用いただければ幸いです。



「岩礁」